

ICTで、農業の新・開拓時代へ。

十勝農業協同組合連合会／北海道

開拓以来、日本の食糧基地として重要な役割を担い続けて来た十勝。1農家あたりの耕地面積は約40haと広大だ。農業情勢が変化し、より高品質な生産が精緻に求められる今——十勝農業協同組合連合会は、生産者の誰もが使え、生産管理の高度化と農業所得の向上につながる最先端のICTシステムを開発中だ。



「病害虫をスマホで撮影するとAIが解析し、その畠に最適な防除の方法を教えてくれる」「作業履歴は地図上に入力し、関係者内で情報を共有。衛星とドローンの画像データを重ねれば、生育状況も一目でわかる」——そんな新しいカタチの農業は、すぐそこだ。地域全体でのシステム実装に向け、挑戦は続く。



一般社団法人
農林水産業みらい基金

未来は、いつだって、現場から生まれる。私たち農林水産業みらい基金は、JA(農業協同組合)・JF(漁業協同組合)・J Forest(森林組合)グループの一員である農林中央金庫によって設立されました。

詳しくは [農林水産業みらい基金](http://www.miraikin.org/) 検索
<http://www.miraikin.org/>

